

令和7年度下野市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会 議事録

審議会等名 令和7年度下野市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会
日 時 令和7年8月8日（金） 14時00分から15時30分まで
会 場 下野市役所 2階 203会議室
出席者 中村委員、川俣委員、黒川委員、渡辺委員、佐藤委員、粥見委員、鱒淵委員、
吉田委員、海老原委員、布袋田委員、梶井委員、川田委員、國元委員、齋藤委員
【欠席委員】山口委員、大古委員
事務局 篠崎課長、伊澤課長補佐、澁谷主事、朝川相談支援包括化推進員、
社会福祉協議会：青山課長、福岡主事

公開・非公開の別（ ☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開 ）

傍聴者 1人

報道機関 0人

議事録（概要）作成年月日 令和7年8月22日

1. 開 会

（事務局） 令和7年度下野市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催いたします。本日の会議は、下野市審議会等の設置及び運営等に関する要綱第10条に基づき公開いたします。傍聴人は1名となっております。会議録については、後日ホームページにて公開いたしますので、予めご了承ください。

2. 自己紹介

（事務局） 名簿順に自己紹介をお願いします。

（委員・事務局一同） 【名簿順に自己紹介】

3. 委員長選出

（事務局） 林委員長が令和6年度をもちまして退任となりましたので、委員長が不在となっております。下野市地域福祉計画推進委員会設置要綱第5条第1項により、委員長は委員の互選により定めることとなっております。いかがでしょうか。

【中村委員を委員長として選出】

4. 協議事項

（事務局） 下野市地域福祉計画推進委員会設置要綱第6条に基づき、ここからの進行は中村委員長にお願いいたします。

（中村委員長） 議題に入る前に議事録署名人を選出いたします。今回は名簿5番の佐藤委員と名簿6番の粥見委員をお願いいたします。

（1） 第3期下野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗状況と今後の取り組みの検討について

（事務局） 【市より資料1・追加資料1に基づき説明。社会福祉協議会より資料2・追加資料2に基づき説明。】

（中村委員長） 事務局の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

市民活動センターの来館者数について、令和5年度10,918人から令和6年度30,62

- 0人に増えています。具体的にどんな取り組みによって来館者が増えたのか分析していますか。
- (事務局) 社会福祉課での管轄ではないため推測になりますが、指定管理者を導入したことが増加に繋がっているかもしれません。
- (中村委員長) 民間のノウハウや活力を利用することが良い影響を生んでいるということですね。
- (齋藤委員) 資料1には指定管理者の導入は令和7年度からとあるので、別の要因ではないでしょうか。
- (事務局) これまで市民活動センターは南河内公民館の中に設置されていましたが、令和6年度に現在の建物に市民活動センターが移りました。場所が変わったことにより、地域の方の利用が一層進んだものと推測されます。
- (中村委員長) 民生委員の担い手不足が問題になっていて、地区によっては民生委員を配置できないところも全国的にはありますが、下野市ではそういった問題がありますか。
- (事務局) 全108名のうち現在3名の欠員が出ている状況です。欠員になっている地区については、周りの地区の担当の民生委員がカバーしてくださって、なんとか活動している状況です。
- (渡辺委員) 私自身、民生委員を探す立場になってお願いしに歩いた経験から申し上げますと、皆さん忙しいという理由でお断りされる。本当はやらなきゃいけないと思っていても、荷が重いというところが先行してしまうと思います。民生委員は高齢者が多い傾向にありますが、夏の暑い時期の活動や任期中に病気になる可能性がある懸念から、皆さんが民生委員を引き受けやすくなるような民生委員活動の宣伝をできないかと考えています。
- (中村委員長) 個人の負担感という点で、民生委員はとても大変だという話も聞くので、担い手に対する支援にも課題があると思います。民生委員を推薦する団体としては、自治会長は悩みどころが多いのではないかと思います。
- (川俣委員) 自治会で推薦することになっているので、自治会によっては苦勞している自治会もあります。世帯数によっては民生委員の地区分け上で複数の自治会を合体して、その中で1名というところもあり、自治会ごとの持ち回りと決めている訳でもないのに、最初に民生委員になった方がそのまま継続するケースが非常に多いと思います。そういった自治会内の課題も解消を考えていかなければいけないと思います。高齢化も進んで民生委員の年齢上限も引き上げになっていますが、高齢を理由に断られるケースもあり、これからどんどん担い手を見つけるのが難しくなってくるのではないかと考えています。
- (中村委員長) 令和7年12月に一斉改選があるので、新しい民生委員をどう確保するかとか、民生委員活動の周知広報についての検討が必要になってくると思います。天草市では子ども民生委員という形で、子ども民生委員バッジを配って、子どもたちが民生委員の活動をして、将来の担い手を育成しています。そのほか九州地方では、大学生と高校生が民生委員劇を作って広報している事例があります。下野市でも若い世代に伝えていくことが必要かと思います。
- (佐藤委員) 高齢者対策についてお聞きします。免許証の返納で自転車しか乗れなかったり、自転車に乗るのも厳しかったりという、高齢者の交通手段の問題があります。ゆうゆう館という立派な施設がありますが、日によっては閑散としていることもあるので、定期的な巡回バスのような方法で交通手段のない高齢者が通えるような、老後の生活を豊かにするような制度があれば良いと思います。
- (中村委員長) 高齢者の移動の問題は下野市に限らずどこでも起きている問題で、市でもデマンド交通がありますが利便性の点での課題があります。市ができないことに対して、地域の中でどうやって出来るかという話し合いの場として協議体があり、高齢者の交通手段の問題もあがっていると

思われます。

- (事務局) 生活支援体制整備の協議会が開催されていて、交通手段の問題は常々話題にあがっています。先ほどの社会福祉協議会の報告のとおり、一部の地域では、サロンに行くために参加者同士で誘い合って乗り合わせで通うという工夫や有償ボランティアの支援という形で実現しています。ゆうゆう館のような施設に通うための公共機関については、現状はデマンド交通の利便性を良くしていく方向が良いと考えています。地域での助け合いの送迎を広げていって、高齢者が出かける機会を増やしていければ良いと思っています。
- (中村委員長) 高齢化社会ですので、高齢者に対して手厚い支援をどう作っていくのかというのも、これから考えていくべきことだと思います。
- (川田委員) 安全帽子購入費助成の件で、各学校では転入生を見込んだ人数で申請しているということですが、事後報告での申請というのは出来ないのでしょうか。
- (事務局) これまで、事後申請にいたる案件がありませんでした。学校ごとに年度末に次年度の新入生の見込みの人数を調査して、申請していただく方式のため、予想外の転入生が発生した場合には、さらに次の年度に申請していただくようになっています。
- (川田委員) もし4年生で転入生がいた場合は5年生のはじめに助成を受けられるということですか。
- (事務局) 新入生に限定しているので、2年生以上の転入生には対応していません。
- (佐藤委員) 追加資料1の5ページ3-4-1「参加支援事業」の回答で地域こども食堂について書かれていますが、今年は食堂を運営する団体が出来たので、場所を提供してもらったり公共施設の利用料を免除したりというような支援を増やしてもらえたらありがたいと思います。
- (事務局) 現状、食堂のために公共施設を利用した場合でも、利用料は納めていただくことになっていますが、こども家庭センターで募集している「令和7年度下野市地域こども食堂運営費助成事業補助金」では、会場を借用している団体に対して補助を増額する制度にはなっています。後日、委員様あてに補助金の資料を送らせていただきますので、詳細はそちらで確認いただきたいと思います。
- (佐藤委員) 市内全地域の人が地域こども食堂に参加できるように、団体の活動が広がっていければ良いと思っています。色々な地域で食堂を開催すれば、異なる学校や地域の人同士の交流ができて見識を広げることもできます。下野市に生まれた人が一度は東京等に仕事で出て行っても、定年退職した時に下野市に帰ってきて地域活動をしたいという気持ちを持ってもらえたらと思っています。
- (中村委員長) 佐藤委員のような考えを持っている人を増やしていくことが、これからの課題かもしれません。
- (國元委員) 今年は地域こども食堂の情報があまり入ってきていないので、開催されているのかが分かりませんでした。先月に国分寺地区で開催されていたのも、国分寺公民館に行って初めて知ったという状況でした。普段、地域こども食堂について情報を得る手段がありません。
- (事務局) 昨年度は社会福祉課で地域子ども食堂を6回開催しました。今年は食堂を運営してくださる団体が、市で把握している限りでは3団体できました。国分寺公民館で開催の「ボチタマCAFÉ」、友愛館で開催の「縁が和」、グリーンタウンコミュニティセンターで開催の「こあらカフェ」です。これらの食堂の開催について、市の方で特段の周知というのはしていませんが、食堂を運営する団体が新たにできた時には、チラシをいただいて各地区の民生委員児童委員協議会で民生委員さんに周知を行っています。社会福祉課では令和7年8月21日に食堂を開催する予定です。広報しもつけ8月号と市ホームページにも掲載しておりますが、本日チラシを用

意しましたので、委員の皆様にお配りさせていただきます。一般参加だけでなくボランティアの参加も募集しておりますので、皆様からも周知いただければ幸いです。

(海老原委員) 最近は育成会が解散してなくなってしまっているのも問題だと思います。若い人が家建てて子どもが増えていますが、お祭りの参加者は高齢者ばかりで若い人が来てくれません。子どもたちが集まれる機会を増やすためにも、育成会が活発に活動できるようにできたら良いと思います。

(國元委員) コロナ禍明けに育成会の活動を再開しようとしたところ、役員の負担が重いことが理由で石橋地区内の育成会はほとんど無くなってしまいました。翌年、南河内地区でアンケート調査を実施しましたが、育成会に所属しないという方が多く、現在は12～13団体ほどが残っているものの、地区の連絡協議会は解散してしまっています。国分寺地区でも場所によっては解散しているところもありますが、役員負担をなるべく減らして存続している状況です。

(海老原委員) 子どもがいない地区は登校班もなくなっています。私が住んでいる地区では、最近、若い人が家を建てて子どもがいるので、登校班がまた編成されて子どもの声が聞こえるような状況ですが、しばらく登校班がなく近隣の地区と一緒に登校していました。学校のPTAもなくなりつつあると聞きます。若い人は働くのも大事なことです、子どもたちのためにも育成会やPTAの役員も引き受けてもらえるようになれば良いと思います。

(川俣委員) 地域こども食堂の話に戻りますが、国分寺中央コミュニティの地区内の方を対象に国分寺花火大会の開催のお知らせと併せて「ポチャマC A F E」の周知もしました。二次元コードを読み込むと日程が確認できるようになっていて、令和7年6月から毎月第1日曜日に開催しています。国分寺中央コミュニティの方や育成会でボランティアをお願いして運営しています。もしよろしければ、見学しに来てください。

(國元委員) 情報が分かれば、育成会の会長から会員向けに周知することもできます。

(川俣委員) 伊藤議員が国分寺中央コミュニティの事務局長を務めていて、青少年育成部の方で連絡網を使って周知しているようです。

(中村委員長) 最近ではPTAが組織されていないという話もありますがいかがでしょうか。

(川田委員) 子どもが南河内小中学校に通っていますが、PTAは存続していて会員の中には脱退したいという意見もあります。ただし、集めたPTA会費から賄っている備品もありますので、脱退した家庭の子どもは備品を使えないのかという問題もあり対応に苦慮しています。また、どの学校も育成会がないと大変だと思います。登校班の編成を育成会に任せれば先生方の負担を減らせると思います。育成会はPTAとは別の組織なので、先生からは何も言えないという感じです。

(中村委員長) 子どもに関連する問題も多岐にわたりますが、地域・行政・学校がそれぞれ受け持つ部分を明確にしながら、共同して対応したりお願いできるところはお願いしたりという形で次年度以降の計画に位置付けられれば良いと思います。

(梶井委員) 地域の中に高齢者が多くなってきていますが、能力のある方は多くいらっしゃるの、いかに高齢者の方を巻き込んで活動していくかというのが、これからの課題だと思います。

(鱒淵委員) 市内にも障害福祉サービスのいろいろな団体が入ってきて、限られた事業しかなかった状況から広がってきたのはとても良いことだと思います。社会福祉協議会の方では、B型事業所「なのはな・すみれ」を運営されていますが、利用者の方の高齢化等を受けて生活介護支援事業を創設するという方向性が示されました。生活介護支援事業について、何年度開始で現在はどの

準備段階にあるのか進捗状況を知りたいです。この事業は市内では社会福祉法人はくつる会しかない状況ですので、利用者の選択の幅が広がることになるのではないかと思います。

(事務局) 障がいをお持ちの方を対象に日常生活の介護や生産活動など日帰りで生活介護支援を行う事業を、令和7年度中に開始できるように準備を進めています。

(黒川委員) 会議資料を拝見して小さな子どもから高齢者の方までカバーしていくことの大変さを感じました。地域こども食堂の話題について、ひとり親の家庭の中には1日3食食べることが出来ない状況もあるというニュースで見ましたが、下野市ではどのような状況なのか気になりました。また、育成会が減っている状況は自治会や老人会に置き換えても同じ状況だと思いました。地域の連携という点で真剣に取り組んでいかないといけないと思います。先日、休日中に薬師寺地区で停電がありましたが、場所によっては3時間ほど復旧に時間がかかりました。暑い時期ですので、一人暮らしや寝たきりの高齢者のために地域の方が動いて、なんとか無事だったという話を聞きました。それを受けて、アクシデントが起きた時に行政側で何か支援できないかという要望を、先日市に出させていただきます。

(事務局) ひとり親の家庭の状況について把握はできていないのですが、地域こども食堂のほか、無料の学習支援教室として「寺子屋」を開いていて無料で食事提供も行っております。ひとり親家庭に限定して行っているものではないのですが、困っている方のための支援ということで実施しております。

(吉田委員) 職業柄、高齢の方や障がいのある方のお宅に訪問してリハビリや看護の提供をさせていただいております。社会福祉協議会の居宅介護支援事業所が閉鎖になってしまうのがとても残念です。数年前に閉鎖になった訪問介護事業も復活させていただけたらありがたいと思います。また、市内に訪問介護の事業所が増えることを願っています。

(布袋田委員) 民生委員の話が出ましたが保護司のなり手も少なくなっています。もともと各地区7名ずつの21名いましたが、現在は5名ずつの15名です。自治会長を務めています。民生委員や消防団の人選にも苦慮しています。地域の高齢化が進んでいて、自治会の加入率も年々10%程度減っている状況なので、コミュニティが徐々に崩れていっている状況です。自分の地域では石橋南地区で6自治会ありますが、こども会は5つ無くなりました。役員の負担感から自治会等が解散してしまう現状があります。

(齋藤委員) 地域のサロンの送迎の問題について、有償ボランティアの活用と相乗りという話が出ました。民生委員でもサロンの手伝いをさせてもらっていて相乗りすることがありますが、事故等の万が一のことが起きた時のことが心配です。お手伝いしているサロンの駐車場で実際に事故が起きたことがあり、この事故だけが人はいませんでした。相乗りで大きな問題に繋がったりしないか心配しています。また、子どもについて、地域全体で子どもを育てたいという思いがあり、子どもの居場所づくりが出来たら良いと思います。石橋で毎朝参加しているラジオ体操に、夏休みになると子どもが結構来ているので、色々な活動に子どもを巻き込んで大人と子どもがクロスした活動ができるような方向性を探っていけたら良いと思いました。

(中村委員長) この計画の評価シートを見ていただければ、計画に載っていることは比較的進捗があるということが分かると思います。一方で委員の皆さんに現状を話していただいたのは、計画に載っていない部分にも課題があるという認識の共有を図って、この現状をとおして計画が本当に進んでいるのか考える目的がありました。また、本日お話しいただいたことが次の計画に活かされていくこととなります。

5. その他

(事務局)

【福祉まると相談窓口について令和6年度の実績と現状を説明】

【令和8年度に第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定があることを説明】

6. 閉 会

(事務局)

以上で、令和7年度下野市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を閉会いたします。

議事録署名人

佐藤善行

議事録署名人

張見美夏